

<p>【技術の名称】 スリムパイルヘッド構法—接合定着筋と井桁補強筋を用いた場所打ちコンクリート杭頭半剛接合構法—</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第 25-04 号 性能証明発効日：2025 年 4 月 30 日 【取得者】 清水建設株式会社</p>
---	--

【技術の概要】

本構法は、場所打ちコンクリート杭の杭頭部の地震時曲げモーメントの低減を意図して、杭頭部と基礎の間に杭体軸部の 1/2 程度の断面積を持つ半剛接合部と呼ばれる厚さが薄い円形断面部位を設けることにより、杭主筋を基礎に定着させることなく、杭の固定度を半剛状態とすることを特徴とする。半剛接合部を介して基礎と杭頭部を連結する所定長さの接合定着筋を配筋することにより、杭頭部の軸力と曲げモーメントに対する安全性と半剛接合部のせん断力に対する安全性を確保している。また、半剛接合部での集中軸力による杭頭部コンクリートの縦方向の割裂を防止するために、杭頭部に高強度の杭帯筋ならびに井桁補強筋を配筋している。

【技術開発の趣旨】

従来の工法では、場所打ちコンクリート杭は断面を減じることなく基礎と接合されているために、杭頭部の固定度が高くなり、地震時の曲げモーメントが大きくなる。そのため、杭頭部に多くの鉄筋を配する必要があるが、基礎や基礎梁の鉄筋と輻輳して現場での配筋施工が困難になる場合がある。本構法は、杭頭部と基礎の間に半剛接合部を設けることにより地震時の曲げモーメントを低減して、鉄筋の輻輳を軽減し現場施工の合理化を図ることを目的としている。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者が提案する「スリムパイルヘッド構法設計指針、施工指針」に従って設計・施工された場所打ちコンクリート杭頭接合部は、設計指針で定める長期、短期の所定の構造性能ならびに終局耐力および変形性能を有する。

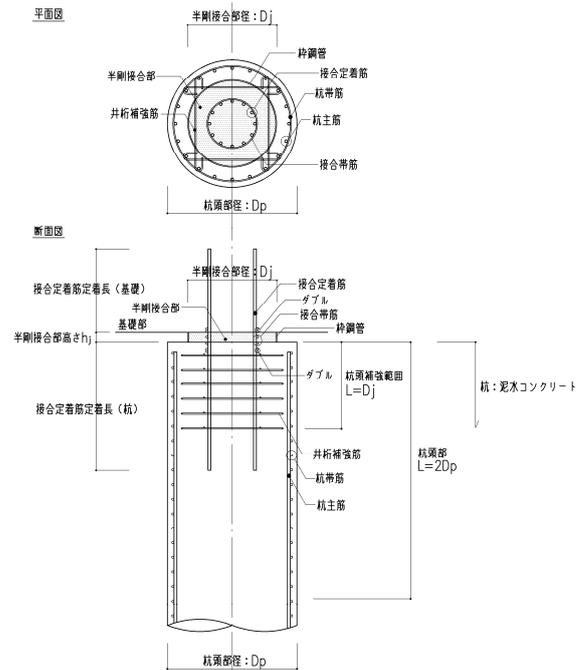


図-1 各部名称

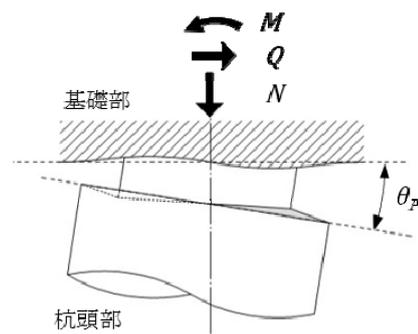


図-2 半剛接合部の回轉變形

【本技術の問合せ先】

清水建設株式会社 担当者：橋本 健
 〒104-8370 東京都中央区京橋二丁目 16-1

E-mail : t_hashimoto@shimz.co.jp

TEL : 080-2187-5991

FAX : 03-3561-8549